

令和3年度九度山町立九度山中学校(学校経営方針)スクールプラン

九度山町学校教育目標

- 豊かな人格の形成を図ることを主眼として、人間尊重を基盤とした心のふれあう充実した教育を通して「生きる力」をはぐくみ、主体的に生きていく元気な児童・生徒を育てます。

保護者・地域の願い

- 思いやりのある子どもに育ててほしい
- 学力をきちんと身につけてほしい
- 地域に誇りをもってほしい
- 魅力のある学校であってほしい

【学校教育目標】

夢や希望に向かって、自ら考え行動し、
地域とともに歩む生徒の育成

【めざす生徒像】

- ・自ら学び、考え、努力する生徒
- ・心豊かで、自分も他者も大切にできる生徒
- ・強い身体とたくましい心をもつ生徒
- ・地域や学校に誇りをもつ生徒

前年度の学校評価

- 目標に向かって取り組む姿勢は評価できる
- 教科指導の工夫の成果が出ているので、さらに実践をすすめてほしい
- 多くの先生から学ぶ道徳は効果的

生徒の実態

- 学校生活が楽しいと感じている生徒が多い
- 学習態度はおおむね良好である
- 自分の考えを述べることに苦手意識を持っている生徒が減少

重点目標

主体的・対話的な学び

- ◎質の高い授業の推進
- ◎基礎・基本の確かな定着
- 家庭学習の定着
- 生徒一人1台のPCの有効活用

具体的な取組

- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行う。
- 各教員年2回の研究授業を実施し、効率的・効果的な研究協議や講師を招いての授業研究を実施する。
- 特に支援が必要な生徒には、少人数学習等指導方法の工夫に取り組む。
- 九中タイムを有効に活用しながら、家庭での基本的生活習慣・学習習慣の確立を目指す。
- 1人1台のパソコンの活用方法を研究し、効果的に活用する。

指標

- ・県学習到達度調査で全教科の正答率が県平均を上回る
- ・学校の授業がよくわかる(生徒90%)
- ・自分の考えを述べるのが得意(生徒70%)
- ・全教員による校内授業研究

豊かな心の育成

- ◎道徳・人権教育の充実
- ◎いじめの未然防止、早期発見
- 仲間づくりの実施

- 道徳科では、物事を多面的・多角的に考え、議論する授業を行い、生徒の道徳性を養う
- 豊かな体験活動(職場体験やボランティア活動)を通じて、規範意識と社会性の育成に努める
- いじめアンケートを年間に3回実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める
- 学校行事や生徒会での縦割り活動、学年集会、学級会等で、生徒同士が関わる機会を増やす

- ・学校へ行くのが楽しい生徒(90%)
- ・道徳科年間計画完全実施
- ・いじめの解消率100%
- ・学校行事に意欲的に取り組んだ(生徒95%)

信頼される学校づくり

- ◎家庭・地域との連携充実
- ◎開かれた学校
- 地域の資源活用の推進

- 各種便り、HP等を通して積極的に学校の情報を発信するとともに、授業や行事等を積極的に公開する
- 地域活動へ参加し、積極的な交流を推進し、規範意識や社会性を育成する
- 教室に入れない生徒も適切に学習できる環境づくり
- 授業のゲストティーチャー、読み聞かせボランティア、部活動指導員等の人材や、地域の自然・文化を積極的に活用する

- ・学校は教育目標・経営方針を保護者や地域にわかりやすく伝えている(保護者90%)
- ・保護者や地域の人々と接する機会を多く持っている(教職員90%)

◎：特に重点的に取り組むこと